

平成27年度 第2回三郷学講座 平成27年7月30日(木)、31日(金)実施

「三郷市版総合戦略づくり(少子高齢化対応策、地域と大学の連携等)」でのアンケート

本日の講演をお聞きになって、どのような総合戦略にしてほしいと思いますか。

また総合戦略にいれてほしい内容がありましたらご記入ください。

市民参加や意見共有を重視する戦略

- ・市民との協働取り入れて進める街づくりの具体的な計画
- ・短期間でもさまざまな意見が出たので意見共有の場が一番重要だと感じた。
- ・色々な意見を取り入れた総合戦略にして欲しいです。
- ・自分自身に出来ることがあまりないと思う中でも、これなら自分でも他の市民や行政などの協働型社会に携われると思えるような機会があったらいいなと思います。
- ・市民力をどのように活用するのか、明確な目標を定めていく
- ・共同という考え方は素晴らしいと思いますが、まだ「税金を払っているのだから自治体がなんでもしてあたりまえ」という方も多いいと思います。どのように意識転換を促すか考えてみたいです。
- ・子育てに限らず、持続的な都市としてあり続けるべく環境、経済、社会の広い視野から考える必要性を感じました。入れて欲しい内容としてはネットワーク構築です。新しく三郷に住む方も増えていますので、町や住む人につながる機会を創造して欲しいと思います。
- ・公共サービスの行政改革 税金が少なくなったときの公共サービスの内容の変更の話が興味深かったので
- ・公共的存在について役割を入れて欲しいと思います。
- ・子育てに限らず、総合戦略も一方通行でない公益社会に役立つものにしていただきたい

子育て重視の戦略

- ・子育て満足度のアンケート調査
- ・子育てしやすい街づくり
- ・住民と協働で子育てがしやすいまちを作る
- ・より子育てのしやすいまちを作っていきたいと改めて感じた
- ・子育て世代に対する経済的支援についても戦略に入れて欲しいです。
- ・今日のテーマとなった子育て支援を重点的に盛り込んで欲しいです。
- ・三郷中央駅には子育て世代が多いが子育てに関する施設が不足していると思うため、充実させたらより良いのではないかと思います。
- ・交通等の安全面(子育てしやすい)を入れて欲しい

高齢社会に対応する戦略(人口増加策も含め)

- ・人口を増やす
- ・人口をキープし、生活を豊かにするような内容。ワークライフバランスを保つなど
- ・子育てはもちろん、高齢者にも暮らしやすい街づくり
- ・年配の方が多いで地域を見守る活動などを総合的にやれるといいと思います。
- ・高齢者への対応
- ・高齢者が自立して暮らせるための戦略、医療費を減らすために戦略
- ・人口が増える三郷で今後も良い影響が出るように先を見越した戦略を出して欲しい

若者をはじめ地域の交流を重視する戦略

- ・3世代の交流
- ・地域の交流や農業政策を高められるような内容にして欲しい
- ・産学官金労言の連携
- ・高齢化が問題視されているが、若い人こそ三郷市に取り入れられる戦略が必要だと思います。
- ・若者が集まる場所にする。娯楽施設を誘致する
- ・若い世代の斬新な意見を反映できるようなプロジェクトの立ち上げ
- ・進学や就職で市外に転出してしまった方がまた生まれ故郷に戻って来たいと思えるような戦略や取組を盛り込んで欲しい
- ・地域との連携についての取組方法について
- ・三郷市の魅力が際立つ総合戦略
- ・三郷市の魅力が見える戦略

夢や希望あふれる戦略

- ・夢のある総合戦略
- ・より良い街づくりをしていただければいいと思います。
- ・いろいろなものをお願いします(テーマ)
- ・目線を市民にあわせ、各世代が幸せになるようにして欲しいです。
- ・夢や希望、こんな町に住みたいと思える戦略
- ・スペシャルな人材ではなく、平凡な人間が幸せに暮らせる街づくり。

企業を巻き込む戦略

- ・企業が進出しやすい街づくり 準工業地域等の逆線引きの実現
- ・いろんなサービスを提供したいという目線から提供してくれる企業はないかという目線に変えるような総合戦略
- ・地場の雇用が確保される戦略 企業誘致etc

これまでになかった新しい視点を盛り込んだ戦略

- ・斬新な何かを取り入れて欲しいです
- ・非現実的なものにならないように欲しい
- ・総合戦略はどこにもないのを作って欲しい、作りたい！
- ・これまでの政策の維持性だけでなく、抜本的政策も必要だと強く思った。

その他

- ・特に
- ・そもそも総合戦略にからんだ話だったのかが疑問。
- ・特になし
- ・発散についての考え方、大変面白かった

③富野氏の講演をお聞きになって、ご感想やご意見等がありますか。

■更なる講演時間の確保

- ・もう少し話が聞きたかったので機会があればまた伺いたいです。
- ・もっと最後まで聞きたかった(ワークショップは別のときにやっては...) 自分子どもたちがどうなるのか → 私たちの世代で責任を取らなくていいの? という言葉が心に残りました。このことに気づけただけでも話が聞けてよかったです。
- ・もう少し話が聞きたかったです。
- ・時間が足りなかったので話がまとまらなかったようです。
- ・時間が足りないので少し物足りなかった。良かったです。
- ・わかりやすい言葉で非常に聞きやすいお話でした。できればもう少しゆっくりお話を聞きたいと思いました。
- ・本当素晴らしい講師です。もっと先生の話をお聞きしたかったです。
- ・少し時間がオーバーしたが、元市長の経験などの話は非常に分かりやすかった
- ・持続可能な社会への質的転換という点ではもっと実際どのような転換を行う自治体があるのか詳しく聞きたかった
- ・話したりないようだったのでワークショップとの同時開催は無理があるのでは
- ・もう少し、時間をとってお話をじっくり聞きたかった

■講師の経験について

- ・ご自身が首長された自治体が話のベースとなっていて三郷市との地域としてのずれがあった。事務局は事前に先生に三郷について説明していたのか?
- ・体験から来る講演は興味深かった
- ・多様な経験をお持ちの講師で話を聞いていて楽しかった
- ・具体例が多くわかりやすかった。日々の業務で多々感じることもあり、行政だから仕方ないのか... と思っていたがそうではないことを今回の講演で分かった。(業務が30%まで削減できる等)
- ・多方面からのお話が聞けました
- ・色々な経歴をお持ちの先生の話をお聞きすることが出来て、色々な視点から物事を見ることの大切さを学ぶことが出来ました。
- ・大変参考になり着眼点が増えた気がする
- ・民間企業の社長から市長まで経験された方ということで、行政が一方向的に押し付けてるのではなく、より意見を聞いて市民サービスというところに共感した
- ・これからの三郷市のことを考えるにあたり、市長の経験での5人組のことなどが参考になりました
- ・行政側だけでない考え方を聞けたので興味深かった。もう少しお話を聞きたかった。
- ・経歴が多彩で色々大変だったかと思えます。
- ・様々な分野に精通している先生ならではの講演でとても興味深かった。
- ・大学の講義のようだった。もう少し具体例が聞きたかった。
- ・専門家の視点でのお話が聞けてとても参考になりました。
- ・民間、市長、教授、といった経歴から産学官の広い視野かた講じていただき大変参考になりました。
- ・様々な仕事をした人だからこそ視点が面白かった
- ・企業がどのように地域社会と関わっていくのか、具体的に伺いたかったです。もっと色々な話を聞いてみたかったです。

■新しい発見

- ・人々の減少時代の地域経営を持続可能性の3要素という概念を持ち込んで説明していただき、まちづくりの考えに整理が出来そう
- ・人口減少にも良い悪いがあるというお話は興味深い
- ・新しい考え方などが学べてよかった
- ・公共サービスの社会化というのとはとても勉強になった
- ・多角的な視点で見る重要性を学習した
- ・人口減少と自治体の関係が良くわかった
- ・あまり考えていなかった子育てしやすい町をテーマに分かりやすい話を聞くことが出来ました。
- ・若年層の減少による影響がどれほど大きいかよく理解できるご説明であった。
- ・「発散」のワークショップが良かったです。自分が思ってもみなかった角度から意見が出て視野が広がりました
- ・自分の考えは少し柔軟性に欠けている気がしました。これからはもう少し、広い視野で考えてみようと思います。
- ・三郷市には大学はないが企業と関係を気づいて新たな取組をするのはいい機会だと思いました。
- ・普段の業務では勉強できないことが聞けて参考になりました。
- ・市民一人ひとりの行動が「街づくり」という意識をもてたことが幸いです。

- ・危機感や意識は生まれた
- ・ただ人口が増えればいいのではなく、人口構成も今後に関わってくるから大切なのだということを知り、学びました。
- ・行政サービス日を全部市でやるのではなく、地域、企業に任せるという考え方もあるのだと新しい発見でした。
- ・行政サービスのあり方等や様々なことにチャレンジしなくてはいけないなど勉強になりました。また京都での取り組みはとても考えさせられるものでした。
- ・三郷の現状と全国との再確認しました。
- ・大学とのコラボ戦略による地域課題解決策について理解が深まった
- ・とてもためになる講義でした。
- ・市民、行政、企業が一体となってサービスを行っていくことは画期的で現実にしたいものだと感じました。
- ・非常にためになりました
- ・大変勉強になりました。市民の力をどう吸い上げ、協働の体制作りができるか、非常に難しいかとは思いましたが、発想を転換して考えたいと思います。
- ・違った視点から物事を捉えられるように上から下から見る意識を持ちたいと思いました。

■印象に残ったこと

- ・子育てしやすいまちづくりをする上で、親が育てやすくするだけでなく、子どもが自分で生きる力を身に付けさせることが大切だと仰っていたことが印象に残りました。子ども目線で考える柔軟性をもって仕事に取り組みたいと思います。
- ・将来人口が減少してしまう中で、どのように活気ある街づくりをしていくかということについて、行政だけでは不可能で、社会のほかの力がないとよりよい街づくりはできないとおっしゃっていたのが印象に残りました。
- ・私たち公務員の仕事はもっと軽減できるということについて共感できました
- ・「出ずるを知り入るを制す」という言葉が非常に納得のいく言葉でした
- ・人口減少は必ず来るという感じ悲観的になりがちであるがまだまだこれからやれることがたくさんあるなどと思う。
- ・行政との協働を積極的に行うことにより、新しい芽が出て花が咲くかもしれません

■講演を通して出た疑問点

- ・なぜ地方都市の消滅を防がなければならないのでしょうか？
- ・持続可能都市への方向性について学ぶことが出来、とても学びになりました。是非各方向性を実現していく上でなにが難しいか、そのためにどうすべきか具体的事例を元に知りたいと思いました。
- ・子育てしやすいまちを考える上で実際には子どもがどう感じているかを考えなくてはいけないと思った
- ・広域連合については参考になりました。当地域でも三郷、八潮、吉川など連合を組んでもいいのではないのでしょうか
- ・他の面の講演

■講演の内容の難しさ

- ・難しい題材でしたが、分かりやすい説明で理解が深まりました
- ・講義の内容は素晴らしかったが、ワークショップのテーマが関連性がないのでせっかくのこうえんが薄くなってしまふ。講演の資料を事前配布してその内容でワークショップをして欲しい。
- ・説明を聞かないと内容が分からないような「用語」がたくさんあったので私は講義内容が理解しづらい点もあった。
- ・とても難しい内容でしたがしっかり考えなければいけないことだと思えます。レジュメ読み直します。

④今後、三郷学講座でとりあげたいテーマをご記入ください

■三郷についてもっと知れるテーマ

- ・「三郷とはなにか」について
- ・三郷の歴史
- ・三郷市特産品の創生、六次産業化
- ・地域学、町会の特性、歴史
- ・地域を盛り上げる新イベント？などの企画
- ・三郷という町を良く知れるテーマ、どんな特徴のある街なのかどのような課題があるのか
- ・三郷の過去について 歴史が伝わってくる昔話など
- ・郷土の昔話
- ・最近ロケとか撮影が多いので、その部分を掘り下げたテーマはやってみたいです。

■環境に関連したテーマ

- ・環境美化(河川浄化など)
- ・三郷市をより緑の多い環境にするには
- ・環境にまつわるテーマ リサイクル、環境保護など
- ・環境美化活動による安全安心の街づくり

■住みやすいまち・まちづくりに関連するテーマ

- ・安全な街づくりとは
- ・道路等インフラ整備
- ・公共サービスの社会化
- ・三郷の成長戦略
- ・まちづくりに限定したテーマを取り上げて欲しい
- ・他の自治体にはない、三郷市独自の取組について
- ・街づくりについて
- ・父(男の人)にとっての三郷について
- ・20代~40代が住みたい町とは！(子育てや60代以上の人以外が住みたい町とは)
- ・高齢者の住みよいまちづくりについて
- ・三郷市内で生活しておられる外国出身者の皆様がどのようにしたら三郷市内で安心して気持ちよく生活できるかについて
- ・日本中にしられるまちになるにはどうしたらいいか
- ・若者(男性)に好かれる街づくり
- ・産業経済
- ・農業政策のあり方
- ・災害に強いまちづくりとは
- ・公共交通について
- ・公共料金の値段。(税金、料金、使用料)
- ・イベント
- ・富野氏が子育てについて論評するのはもったいない
- ・スポーツ推進していく話をしていきたいです。
- ・雇用と企業誘致
- ・市の農業について
- ・民間の方の苦労話、成功した話
- ・女性が働きやすい職場作り(女性の活躍)

■行政のあり方についてのテーマ

- ・協働の実現
- ・今回の残りの話を聞きたいです。
- ・「協働」の施策をうっている自治体の事例。実際にその自治体の職員から聞く。
- ・市役所のあり方
- ・自治基本条例
- ・三郷市で取り組んでいるとかの行政とは異なる事業や取組
- ・自治体のイノベーション

■高齢社会についてのテーマ

- ・高齢社会への適応
- ・現在子どもがいない等の家族、独身者の老後について
- ・独居老人の方と地域の人との交流、安否確認
- ・高齢者の終末期の生き方について

■その他

- ・実現性
- ・特になし
- ・特にありません
- ・「三郷が金持ちになるには」

⑤その他、お気づきの点をご記入ください/⑥自由記入欄

■講座内容・運営について

- ・ワークショップはよかった。体験型の研修がよいと思った
- ・有意義な講義ではあるが、一般的な話ばかりでどこが「三郷学」なのか理解できない。単に「地域経営講座」でよいのでは？
- ・もう少し分かりやすい進行だとありがたかった。今は何をやる時間、発表はこのように、など。
- ・もう少し講師の方の説明を聞きたかったです。
- ・三郷学ってそもそも何なのでしょう？ テーマが自由でいいと思います。
- ・民間企業の方とも交流することができ、大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・民間企業の社長と市長という異色の経歴をお持ちの方の意見を聞いてとてもためになった
- ・ワークショップはよかった。体験型の研修がよいと思ったは日ごろ行う機会がないので、様々な年代の方とかかわり、意見交換が出来てよかった
- ・午前すぐの講座は眠気を吹き飛ばす内容にしてください
- ・平日ではなく、休日の開講をお願いしたいと思います。最近引っ越してきて、自分の住む町について知りたいと思い、今日は参加させていただきました。でも平日だと会社を休まなければならない…。
- ・話し合いの時間をもっと設けていただきたいと思います。
- ・講演からたくさん学ぶことがあるのでありがたいです。
- ・ワークショップの時間が短く、もう少し、時間をかけて考えたかったです。
- ・講座にはもっと大勢の市民が参加できるとより良いものが作られるのではないかと思います。
- ・各部から強制参加させるのはやめて欲しい
- ・ワークショップの内容が講演とまったく関係ないように感じました。
- ・非常にオープンでグッドだと思います。

■子育てについて自分達で取り組めること

- ・娘(4歳)を三郷の至る所へ連れまわす！
- ・子育て世代に優しい目を持つ。地域で育てるに参加。
- ・町会の活性化に努め地域の絆を深めることで子育てしやすい街づくりをすすめる。
- ・近所の子どもに話しかける
- ・子育てのお母さんをお手伝いします
- ・「子育てしやすいまち」について決意表明 ～H27.12.31まで 三郷市の子育て満足度のアンケート調査
- ・子どもたちが田んぼで自由に泥遊びや虫探しなどのあそびができるように農業者と相談してみる
- ・「子育てしやすいまち」にするにあたり今年中に何が出来るか より分かりやすい子育て制度の説明が出来るように。子育てに対するビジョンを持つ。もてたら自ずと必要なものが出てくるのでは？
- ・子ども目線で考える柔軟性をもつ
- ・<子育てしやすい街づくりにするために自分が12月中に出来ること> 仕事関係 子どもたちが遊びやすい公園をより増やすために、出来る限り遊具を設置できるようにする※遊具自体は非常に高いので上司に相談
- ・<2015年12月31日までに自分が出来ること 決意表明> 「子育てしやすい街づくり」について子どもがイキイキする姿を見て親が充実するにはどうしたらいいか？という課題を飲み会ごとに一回はする 月に三回以上、妻と子どもをつれて市内の実家に行く
- ・子育てしやすいまち 12月までに自分になが出来るか 子どもをつれたかたがたへ、思いやりを持った対応を積極的に行う(声かけ等) 対象者と定期的に話の場を設け、情報交換をする。
- ・今度自分が出来る「子育てしやすい街づくり」近所の人とふれあい(あいさつ) 公園や町のゴミ拾い(きれいな街づくり) 近所の子と遊んでみる
- ・今後実践する「子育てしやすい街づくり」住宅の周辺などで危険な場所や不審な人やものがないか目を光らせる。ごみを拾う近所の子どもたちと機会があれば話してみる
- ・今年中に達成させる目標 親子だけでなく周囲とのコミュニケーション強化によつ明るい地域づくり 犯罪を未然に防ぐ防犯活動、合気道をやっているの、護身術のレクチャー
- ・自分の子育てサポートは ショッピングセンターで迷子になっている子どもに声をかける 子ども同士でけんかをしていたら声をかける 赤ちゃんをだっこしている人の荷物を持って上げる 本当は毎日あっている小学生の集団登校に「おはよう」と声をかけたい
- ・はじめてママ教室の支援・設置 コレクティブハウスの検討 職場と住居が近い(企業誘致) 職場で子育てしやすいまちづくりについて話し合う
- ・今年のうちに子育てしやすい街づくりにするために出来ること ①子ども連れのお母さんが困っているとき、すぐに動いて手助けする。②近所の子どもたちにあつたら挨拶以外の言葉を交わしてみる③子育て中の親の視点に立って市内を歩いてみる ④子どもの頃を思い出しながら子ども目線で市内を歩いてみる。

■より良いまちづくりのために自分達が取り組めること

- ・道路の修繕をすばやく行う
- ・見守る
- ・仕事を頑張る
- ・パパ・ママショッップを知人に教えている
- ・ゴミ出しマナーの徹底。不法投棄物を減らす→すみやすい環境整備
- ・(自分のしているスポーツで)地元の中高生の部活動に顔を出し、地域の人と関わることに少しでも積極的になってもらう。同じ職場の子育て世代職員をサポートする(早く帰れるように)
- ・地域に飛び出す職員をたくさん育てる。自治基本条例の理念を現実のものにしていく
- ・相手にとって一番良いもの、ことは何か考えて行動する(相手の立場にたつ)
- ・ご近所の方と仲良くなる(特に子どもを持っている方)その子どもとも
- ・今年私はこれをやります!! 歩道に落ちていた犬のふんを拾います→きれいな歩道を保持します→安心安全な街づくり 情報発信をします まちなかで困っている人がいたらお手伝いします(ストーカーと間違われないようにしながら)
- ・市営住宅に富野さんっがおっしゃっていたような制度を取り入れます。
- ・窓口にくられたお客様に子育て環境などの不安や改善点などの聞き取りをしたりアンケートなどを行ったりする。そこからなにか政策などを提案する。
- ・窓口にくられたお客様に対し、制度の特徴、内容を丁寧に説明し、かつお客様からの質問意見を聞き指導する 窓口子どもが遊んで危険なものがないか確認し整備
- ・三郷市の子育て支援のためのサービスを一覧にして広報とページに掲載する。(いつ、どこで、どのようなサービスが受けられるのか、知ってもらえるようにする)
- ・ワーク・ライフバランスを!! 仕事、余暇
- ・毎日子どもが集まる公園をつくる 目的をもって公園を作っても誰もいないような状況がないように目線を利用者に合わせたいです
- ・地域の防災訓練で子ども・子連れの参加者に必ず消火器を使ってもらう

■要望その他

- ・危機感や意識は生まれたが、どうしたらいいか具体的には分からなかった。
- ・特に
- ・特になし
- ・初対面の方で大変面白かったです
- ・ららポートよりベビーポート!
- ・①市内歩道部段差解消 安心安全なまちづくり②インフラの整備の補修
- ・子ども医療費年齢拡大